

共和の郷・おだ

広報 第186号
令和元年5月1日発行

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター

739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL: 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail mail@kyouwanosato-oda.com

検索: 共和の郷・おだ

自治組織「共和の郷・おだ」総会（5月12日ご案内）

多数のご出席をお願いします。

ご都合により欠席の場合は、必ず委任状の提出をお願いします。



昨年の定例総会の様子

とき 令和元年 5月12日
(日) 13:30～

ところ 小田多目的集会所

内容 第17回定例総会

議事 H30年度事業報告及び収支決算報告について
令和元年度事業計画及び収支予算（案）について
規約の改正（案）について

自治組織「共和の郷・おだ」会長小早川正治

河内小学校区親善体育祭(ご案内)

小学校の統合により最初の運動会となります。

皆様のご参加・声援をお願いします。

・各組2名～3名の選出をお願いします。

日時 令和元年 5月19日 (日)
8:45～

場所 河内小学校運動場

駐車場は、JA流通センター跡地を利用ください。



力を合わせて 綱引き

競技内容 プログラムにて、ご案内いたします。

自治組織「共和の郷・おだ」体育健康部長福元忠彦

ありがとうございました。

ご寄付は(自)「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

香典返し 有田繁正 様

香典返し 池田信子 様

(自)「共和の郷・おだ」 会長 小早川正治

福祉ふれあい部 部長 西村智基

にこにこ百歳体操 毎週水曜日 (5月8日/15日/22日/29日ご案内)

年をとると、体力や筋力が落ちて介護が必要になるのは仕方がない」と思っていないませんか？ 筋肉は、いくつになっても鍛えることで筋力アップすることができます！

「百歳体操」で脳もからだも元気に！

お気軽に参加ください

とき:令和元年

5月8日/15日/22日/29日

13:30~15:00

ところ:小田地域センター



百歳体操愛好会、小田地域センター

野菜づくり教室 (4月23日報告)

今年度最初の教室では、講師に、今回からJA 広島河内グリーンセンター藤井所長さんをお招きし、野菜の土づくりから、種まき、追肥のやり方など丁寧に説明いただきました。

この野菜づくり教室は、年4回開きます。次は、6月、8月、10月を予定しています。

お気軽にご参加ください。



教室の様子

河内小学校入学式(4月8日報告)



新1年生を前に高橋校長式辞

♪ピッカピカの1年生♪ 17名が入学しました。小

田地区からは、有田遥登くん、村上凜空くん
森原颯都くん、森本翔太くん、平賀弥栄さん
の5名です。

高橋 修校長は、式辞で皆さんと会える日を楽しみに待っていました。この河内小学校は、4月に隣の河内西小学校と統合し新たな門出を迎え、新しくスタートする学校です。

皆さんに頑張ってほしい、4つのことについて話します。

1つ目は、友達いっぱい。仲良く元気で勉強したり遊んだりして、たくさんの人とお友達になりましょう。友達を大好きになってください。

2つ目は、元気いっぱい。早寝早起き、毎日しっかり朝ご飯を食べて元気のスイッチをピットいれて学校にきてください。

3つ目は、明るさいっぱい、返事とあいさつ。明るい声をみんなに届けてください。

4つ目は、やさしさいっぱい、心と命を大切に。一つしかない命です。大切に育ててくださった命です。事故に遭わないように自分を大切にしてください。また自分たちと同じようにお友達を大切にしてください。先生方は、毎朝笑顔で迎えてくださいます。みんなをいつも見守っています。河内小学校をみんなで笑顔いっぱいの学校にしていきましょう。と話されました。

ご入学おめでとうございます。



新1年生を迎える児童

小田地域センター

河内中学校入学式(4月9日報告)

新1年生は33名(男子17名、女子16名)で小田地区では

土肥大輝くん、土肥知輝くんが入学されました。

木村通幸校長の式辞で、中学校は、小学校と異なり9科目の先生が変わります。



新1年生 33名

初めて学習する教科もあり、又部活動も盛んです。中学校時代は、将来の進路について分かれ道になったり、一生付き合える友達が出来たりする時でもあり大切な時期です。

中学校生活で、大切にしてほしい事を3つ話します。

1つ目は、自分を創るのは自分自身である。中学校生活では、自分で判断して行動しなければならない場面が増えてきます。そのために適切に判断して選択する力をつけてください。

2つ目は、挑戦するということです。

中学校生活で、失敗することもあります。失敗を恐れず勇気を持って様々なことに挑戦してください。

3つ目は、人間関係づくりの練習をたくさんしてほしい。中学生にとって、友達や先輩との付き合いは、勉強や部活動と並ぶ大きなことです。お互いに個性をぶっつけあいながら、人との関わり方を学ぶ練習問題を解いてください。河内中学校での3年間は、皆さん一人ひとりの未来につながる大切な時間となることを願っています。

と話されました。

そして、生徒全員による篠笛でお迎えしました。

ご入学おめでとうございます。

小田地域センター

地域おこし協力隊員通信

私は 1998 年に 1 年半ほど台北に留学していたことがあります。

大學で北京語を勉強しながら、夜は塾で日本語を教えるアルバイトをしたり、文化の違う国で新しい体験をし、毎日自由を謳歌していました。20 年前の思い出もあり私にとって台湾はとても特別なところでした。

今回はその台湾に写真家として招聘され台湾の花蓮というところで滞在制作をすることになり、この 1 ヶ月は 20 年という時間を振り返りながら、再び新しい台湾を知る時間でした。

私が過ごした花蓮は台北から 2 時間くらいの田舎ですが、都会の台北とは違う時間が流れていました。今回一番印象的だったのは、花蓮には日本統治時代の文化や建物がたくさん残っていること。そして日本語を話せる老人にたくさん出会ったことでした。朝早く



公園に行くと毎朝カラオケ大会をやっていて、みんな日本の演歌を歌っていて日本語で話しかけてくれました。

この 1 ヶ月の滞在の間に、地域の人とアルバムを作るワー

クショップをしたり、東華大學で講義をしたり、原住民の住む部落へ行ったり、地域の人とたくさん交流しました。



地域創生や文化保守などに意識の高い人にも多くお会いし、普通の日本人旅



行者が行かないようなところにも行きその地域活動も見てきて、台湾の田舎も今の小田と同じような問題を抱えていることを知りました。

いろんな夢が広がり、いつか花蓮と小田の交

流ができたらいいなと思っています。花蓮はいいところ！

台湾は食べ物も美味しかったです、やはり今一番食べたいのは、小田のお米と味噌汁！



滞在の間、花蓮

が震源地の大きな地震もあり、大変ご心配をおかけしました。

中華電信 14:57 ksnews.com.tw

藤岡亞彌在花蓮駐村創作一個月 稱像處在來來去去的不可思議時光中

日本中生代攝影家藤岡亞彌 (Erena Aki) 在花蓮駐村創作一個月。藤岡於去年再訪台灣，她彷彿跌入今並存的詭譎記憶裡，於是出廿日在好地下藝術空間舉行成果展「時間旅行」，歡迎來去感受她的時光之旅。

藤岡亞彌曾於一九九八年，初次來台灣中、教日語，那一年裡她陷入「亞熱帶之戀」，與朋友們到處遊玩體驗台灣，如今想起仍充滿歡樂。今年好地下藝術空間在國家文化藝術基金會贊助下，邀請她以攝影家身份再度來台，且一度來到花蓮。

「在一個月，我好像廿年前的我，處在來來去去的不可思議時光中。」藤岡亞彌試圖在花蓮尋找廿年前在台灣的記憶，故著手整理當時拍攝的照片，也如寫日記般地在花蓮拍照、重溫生活所遇的街頭風景與芝麻小事，最後在大量照片中精選出四十餘張展出。

這次在花蓮，也喚起藤岡亞彌對日台關係的

思考。她發現原來花蓮現存許多日治時代文物，還有位九十三歲照相師老謝能神色自若地以日語招呼她，甚至美崙山公園每早唱卡拉OK的歌巴桑們，竟能唱日本讚歌也能用日語跟她話家常，讓她驚訝「感覺不像在國外」。她說，有機會還想再來花蓮，深入訪查長輩們的日本記憶。

藝術總監田名璋指出，藤岡亞彌的影像看似「奇奇怪怪」，又富有獨特神秘感，風格與異於日本的創作，彷彿被亞熱帶感染，她期間拍攝的照片構圖雖平凡，卻能以日人獨到眼光觀看台灣特有的文化現象。藤岡亞彌也說：「我不是要完美呈現台灣，而是尋找自己與台灣的關係。」

藤岡亞彌駐村成果展即日起至五月廿日止，在花蓮市節約街卅七號地下室，每週五至一，中午十二點至晚上八點開放。同時另有工作坊十三位學員攝影小書成果展，在蘭裏子X花蓮日日(花蓮市博愛街二三號)，上午十一點至晚上八點中開放，每週二公休。

地元の新聞に紹介されました

寄りん菜屋からのお知らせ！！

日時：令和元年5月4日～5日

5月4日(土)：寄りん菜屋「ぜんざいサービス 先着 100名様」

5月5日(日)：寄りん菜屋の交流広場で遊ぼう



→こどもの日を祝って

10時 ～ 寄りん菜屋広場にて・・・こども宝探し

→連休の即売品 かしわ餅・寿司・いなりずし

寄りん菜屋 TEL 438-1020

第5回セントルマルシェで寄りん菜屋が「最優秀賞」

4月21日（sun）にトムミルクファームで開催されたセントルマルシェで「ステキSHOPコンテスト」が行われ「優秀賞」となりました。

当日、寄りん菜屋はこうち交流サポート隊・西村智基さんたちの支援を得て「山菜パエリアやよもぎ餅、小田ジャム」など販売。テーマカラーの「水色」で統一「手書きのメニューボード、ロゴなどのぬくもり感、什器は自然素材で統一」など、テント内の装備や接客が評価されたものです。

尚、このセントルマルシェは秋の開催会場が寄りん菜屋周辺となる予定です。



写真：受賞した「こうち交流サポート隊」